

1. 概要

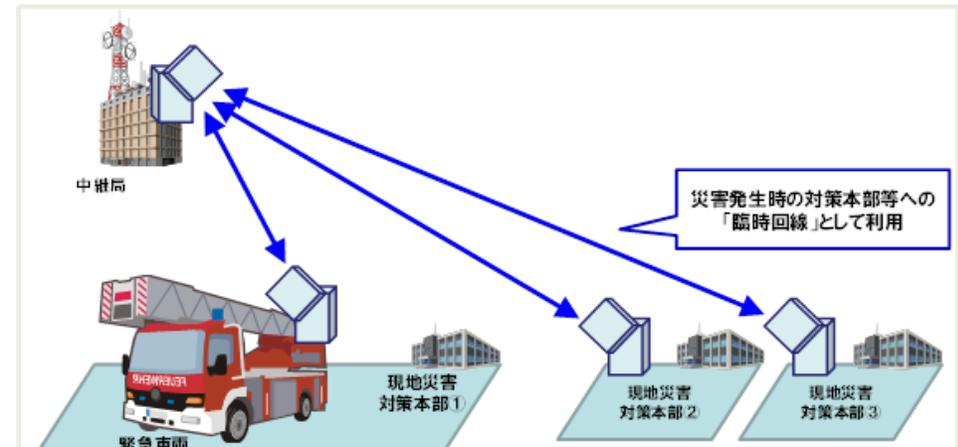
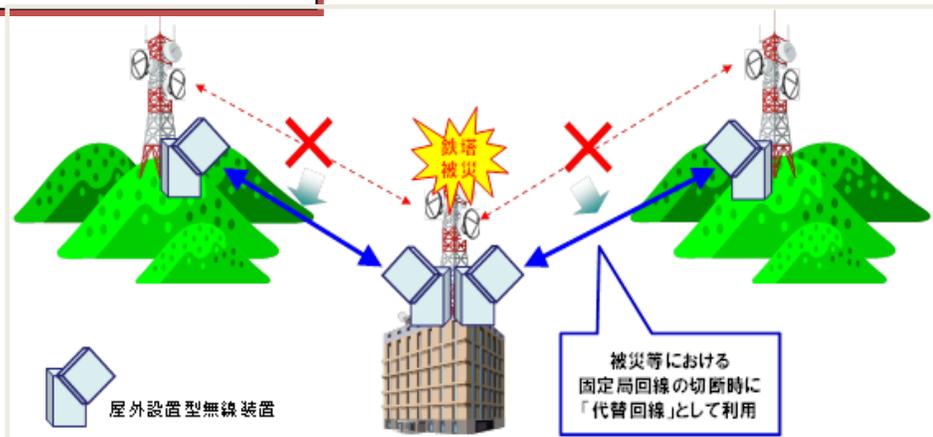
都市部における柔軟な回線構築や災害時における臨時回線として、6.5/7.5GHz帯等を中心とした可搬型システムの導入の要望が高まっていることから、当該システムの技術的条件並びに回線品質の信頼性向上等を図るため現行規格の見直しについて検討を実施する。

また、当該検討に併せて放送業務用の一部の周波数帯に、電気通信業務用システムを導入するための技術的条件等についても検討する。

2. 具体的な検討内容

- ① 6.5/7.5GHz帯可搬型システムの導入並びに6.5/7.5GHz帯基幹系システムの高度化の検討
 - ・固定通信システムの帯域に、可搬型システムを導入するための技術的条件や周波数共用条件等を検討
 - ・固定通信システムへの高次変調方式の導入や回線品質向上を図るため現行基準の見直し
- ② 放送業務用の周波数帯に電気通信業務用システムを導入するための技術的条件の検討
 - ・地上デジタル放送完全移行に伴い、放送業務用の一部周波数帯(5850～5925MHz、6425～6570MHz及び6870～7125MHz)に電気通信業務用システムを導入するための技術的条件の検討

3. システムの概要



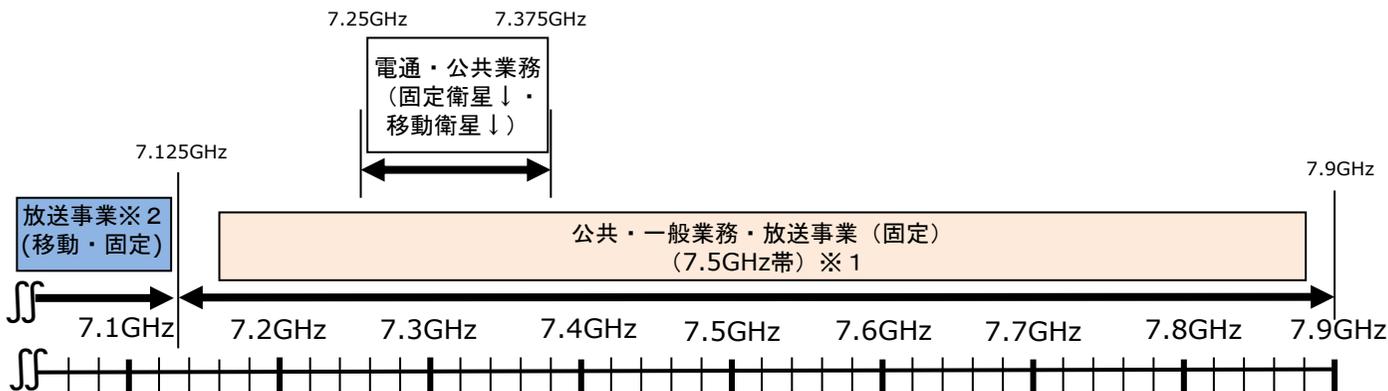
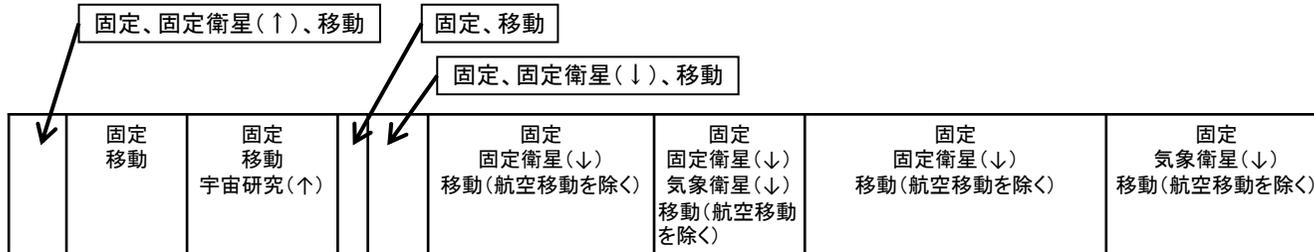
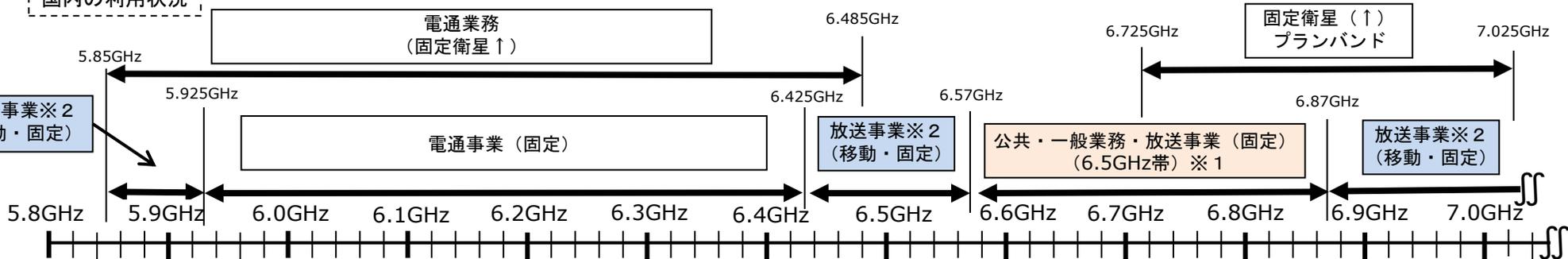
可搬型システムの利用イメージ図

6/7GHz帯周波数の使用状況【概要】

国際分配(第三地域)の概要



国内の利用状況



- ※1の周波数帯域の主な検討事項
- ・可搬型システムを導入するための技術的条件
 - ・固定通信システムの高度化のため現行規定の見直し
- ※2の周波数帯の主な検討事項
- ・電気通信業務用システムを導入するための技術的条件